

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム福寿万記の里

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 6月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	18	利用者個人レベルでは家族の協力等を得て、外出しているが、施設単位での外出、つまり合同での外出があまりできていない。	1ヶ月に1回程度の遠足、散策の実施。	外出の機会を増やすため、様々な企画を計画すると共に、外出だけではなく、利用者・利用者家族・職員が一体となれるようなイベントも計画する。 (年間を通して実施に努める)	12ヶ月
2	2	地域や他事業所等の連携があまりとれておらず、当施設が閉鎖的なイメージになっており、外部交流が充実していない。	地域・関係機関・他事業所との積極的な交流を図り、開放的な施設になる。	地域運営推進会議において様々な方に出席してもらい、当施設の事業内容を知ってもらった上で、意見交換等を行い、地域行事や他事業所交流を当施設の事業内容に盛り込み、積極的に参加していく。(年間を通して計画する)	12ヶ月
3	13	災害対策時における地域との連携体制が十分に構築できていない。	災害時に近隣住民と連携の取れた対策を実施できるように、災害時の体制を確立する。	現状では地域の緊急連絡網には載っているが、災害が起こってからの動きなどの連携は具体的に決まっていないので、地域運営推進会議で「災害対策」を討議テーマに地域・関係機関としっかりと今後の課題を確認し、課題解決の体制を構築していく。	12ヶ月
4	12	ターミナルケアの実践はあるが、きちんとした体制が確立されておらず、また設備が充実していない。	ターミナルケアの体制構築及び設備の充実。	職員に対してはターミナルケアの研修に積極的に参加してもらい、施設としては医療連携を確立し、必要な設備は準備する。	12ヶ月
5	19	家族からの要望が多かった、施設設備の充実と隣接するカルチャールームの有効活用。	家族アンケートで要望されている設備(テレビ電話、空気清浄器等)の導入の検討及び実施。	ニーズの多少を把握し、内部での検討を重ね、本当に必要なものは順次導入していく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。